



FAMIC(ファミック)

独立行政法人 農林水産消費安全技術センター

FAMIC メールマガジン 第1001号 (一部抜粋)



令和5年12月20日



5. ◇◇ 最近の話題・キーワード ◇◇

◆ FAMIC 認定センターの国際相互承認協定締結について ◆



FAMIC 認定センター（略称 JASaff）は、2023年8月に製品認証分野において、国際認定フォーラム（略称 IAF：認定機関間の国際協力組織）の国際相互承認協定を締結しました。今回は「認定」や「国際相互承認」についてご紹介します。

○「認定」とは

日本のメーカーが商品やサービスの「強み」を海外にアピールする際に使える手段の一つが「規格」の利用です。規格とは、製品やその製法、試験法、システム等の基準を定めたもので、ISOのような国際規格、日本農林規格（JAS）のような国家規格や民間規格などがあります。製品等がそれらの規格に合致しているかどうかを第三者機関が証明することを「認証」といい、その第三者機関が適切に認証を行う能力を有しているか評価することを「認定」といいます。

○「国際相互承認」とは

製品等の認証を行う能力が各国の認証機関間で異なると、ある国の認証結果を他国が受け入れる際に、再度認証を取得する手間やコストがかかる可能性があります。そこで、認証機関間のレベルが同等であることを確保する手段として、認証機関を認定する各国の認定機関同士が「同等に信頼できる認定を行う能力を持つ」ことを評価し認め合う制度である「国際相互承認」があります。

○今後の期待

JASaff は農林水産分野の規格を扱う製品認証機関と試験所を認定する認定機関であり、農林水産分野の国際競争力強化の一環として、IAFに加盟し国際相互承認に向けて取り組んでまいりました。2022年9月に国際相互承認に係る評価を受けた結果、JASaff 認定業務の国際的な同等性が認められ、国際相互承認協定の締結に至りました。これにより、JASaff が認定した認証機関の国際的な信頼性が高まり、認証を受けた製品等の輸出が促進される効果が期待されます。

JASaff の業務について、ウェブサイト（※1）でご紹介しているほか、国際相互承認の下で活動している国内5機関が考える「認定のこれから」をこちらのペ

ージ（※ 2）で紹介しています。

※ 1

<http://www.famic.go.jp/jasaff/>

※ 2

<https://www.accreditation30.jp/discussion/>